会議結果報告書

1　会議名	ごみ処理に関する課題についての意見交換会（本町第四自治会②）
2　日時	平成 30 年 12 月 1 日（土）13：40～14：45
3　場所	茅ヶ崎地区コミュニティセンター大会議室
4　出席者	（資源循環課）添田主幹、水本主事 （環境事業センター）尾坂主幹、鈴木主事 （本町第四自治会②）参加人数：16 人
5　内容	本市のごみ処理に関する課題について意見交換会を実施した。会議の主な質問と意見は次のとおりであった。 ●大和市の有料化後の状況が聞きたい。 →別紙３に記載のとおりごみ排出量は、導入前と比較して約 29%減少している。また、収支に関しては 2 億 3,103 千円の歳入増加となっている。 ●不法投棄に関してはどうか。 →有料化後の不法投棄に関しては、不適正排出も含めると一旦は認められるものの、県内他市では大きな増加ではなかったと聞いている。有料化の際には何らかの対策が必要と考えている。 ●戸別収集の費用に関してはどうか。 →大和市に関する資料が手元になくわからないが、藤沢市では収集を直営と委託で行っている。委託の経費は 6 億 4,000 万円と聞いているが、これは戸別収集のみの経費ではなく、従来からの委託収集経費と合算されている。このため、戸別収集のみの経費は手元に資料がない。 ●有料化で減ったごみはどこへ行ったか。 →排出抑制の効果により減少したと考えている。茅ヶ崎市でも約 25%は本来ごみではないものが排出されている。推計すれば約 10,000 トンになる。この部分の減少や 4Ｒによる排出抑制が期待される。 ●環境部が占める予算である 3%をどうにかできないか。 →資料にあるとおり、扶助費の増加による経費に予算の多くが費やされている。環境部としても必要な予算を要求し事業を行っている。資源化の実施には経費を要するため、段階的に実施している状況である。 ●有料化で燃やせるごみを減らして行きたいのか。 →燃やせるごみ、燃やせないごみなどごみ全般を減らすことを目的としている。 ●今回の台風で旧サティ前の歩道に松葉が多く散らかっていた。松葉は滑るので、小学生や高齢者の歩行に不安がある。どこに相談すればよいか。 →当該道路は国道である。清掃については把握していないが、先ずは市役所に連絡願いたい。国や県との関係部署もあるので、何らかの対応が取れると考えられる。 以上